

平成29年度「県民Webアンケート」  
第4回 「青少年の非行・被害防止運動」に関する意識調査

○実施期間 2017/8/17～2017/8/23

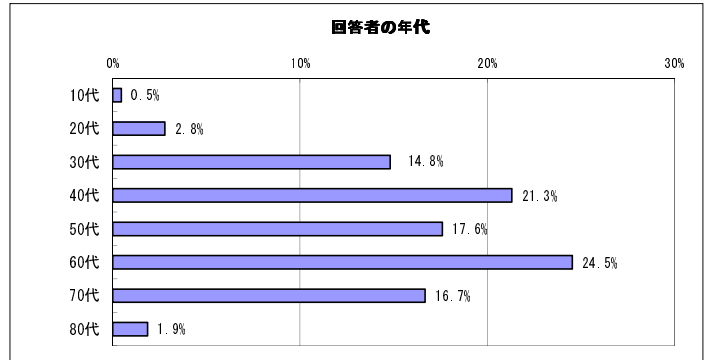
○アンケート会員数 240人 回収数 216件 (回収率 90.0%)

○奈良県では、次代を担う青少年を犯罪の被害者にも加害者にもさせないため、7月を「強調月間」、8月を「強化月間」と指定し、2ヶ月間にわたり青少年の規範意識の醸成及び社会環境の浄化を図ることを目的に「青少年の非行・被害防止運動」を実施しております。

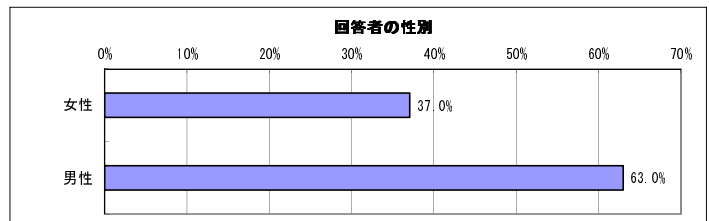
同運動の認知度や、インターネット利用に係る非行や犯罪被害に対する意識について現状を把握するためアンケートを実施し、今後の取組に活用させていただきたいと考えております。

ご多用のところ恐れ入りますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

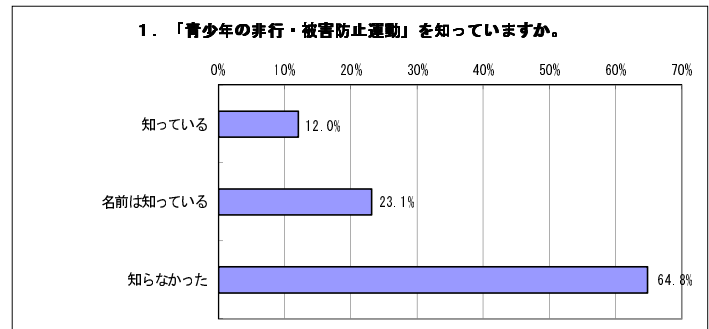
回答者の年代	回答数	比率
10代	1	0.5%
20代	6	2.8%
30代	32	14.8%
40代	46	21.3%
50代	38	17.6%
60代	53	24.5%
70代	36	16.7%
80代	4	1.9%
総計	216	100.0%



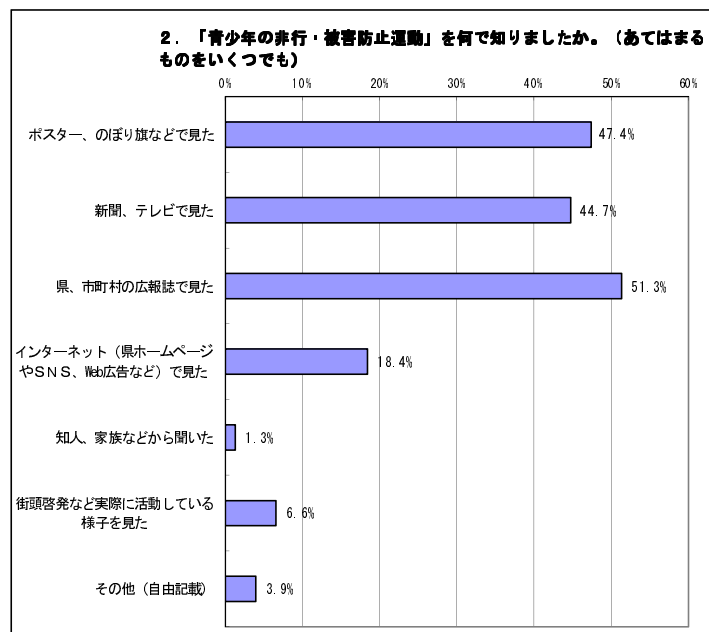
回答者の性別	回答数	比率
女性	80	37.0%
男性	136	63.0%
総計	216	100.0%



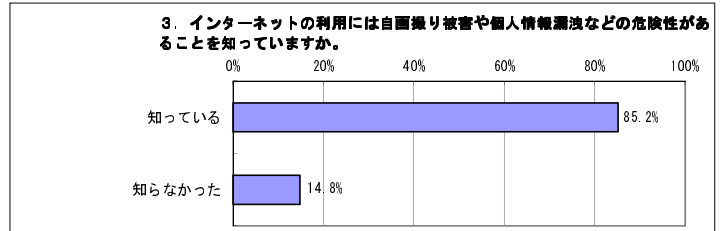
1. 「青少年の非行・被害防止運動」を知っていますか。 →「1. 知っている」「2. 名前は知っている」を選択された方はQ2へ、「3. 知らなかった」を選択された方はQ3へ	回答数	回答者	比率
知っている	26	216	12.0%
名前は知っている	50		23.1%
知らなかった	140		64.8%
総計	216		100.0%



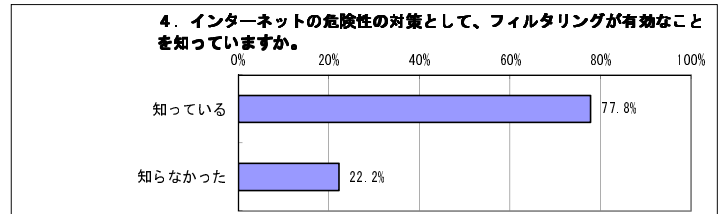
2. Q1で「1. 知っている」「2. 名前は知っている」と答えた方にお聞きます。 「青少年の非行・被害防止運動」を何で知りましたか。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
ポスター、のぼり旗などで見た	36	76	47.4%
新聞、テレビで見た	34		44.7%
県、市町村の広報誌で見た	39		51.3%
インターネット(県ホームページやSNS、Web広告など)で見た	14		18.4%
知人、家族などから聞いた	1		1.3%
街頭啓発など実際に活動している様子を見た	5		6.6%
その他(自由記載)	3		3.9%
総計	132		-



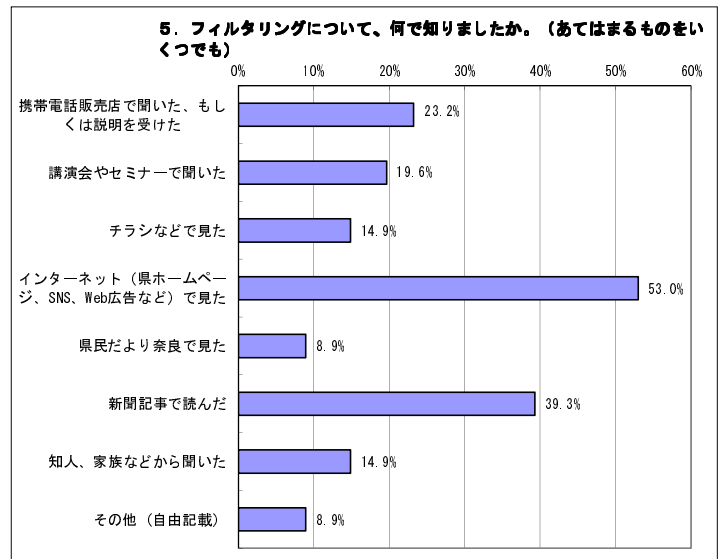
3. 「青少年の非行・被害防止運動」では、インターネット利用に係る非行及び犯罪被害防止対策の推進に取り組んでいます。インターネットの利用には自画撮り被害や個人情報漏洩などの危険性があることを知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	184	216	85.2%
知らなかった	32		14.8%
総計	216		100.0%



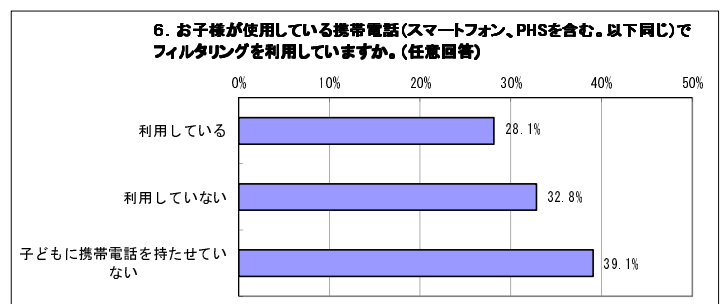
4. インターネットの危険性の対策として、フィルタリングが有効なことを知っていますか。(※フィルタリングとは、有害な情報を一定の基準でブロックするツールのことです。)	回答数	回答対象者	比率
→「1. 知っている」を選択された方はQ5へ、「2. 知らなかった」を選択された方はQ7へ			
知っている	168	216	77.8%
知らなかった	48		22.2%
総計	216		100.0%



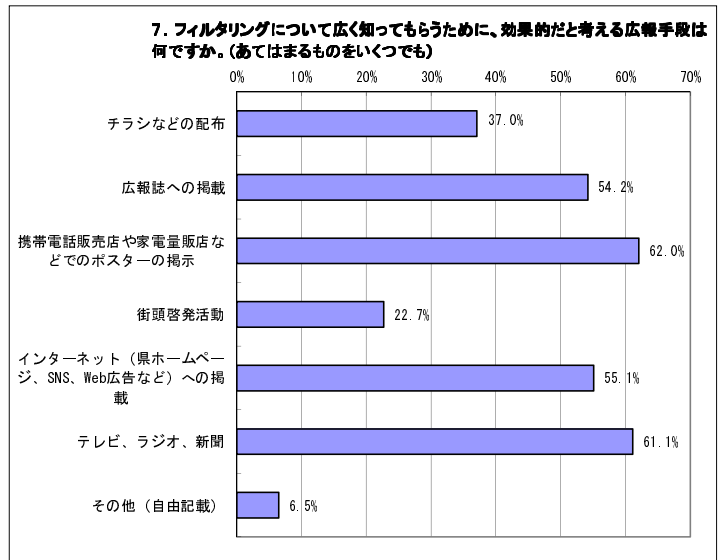
5. Q4で「1. 知っている」と答えた方にお聞きします。フィルタリングについて、何で知りましたか。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率	
携帯電話販売店で聞いた、もしくは説明を受けた	39	168	23.2%	
講演会やセミナーで聞いた	33		19.6%	
チラシなどで見た	25		14.9%	
インターネット(県ホームページ、SNS、Web広告など)を見た	89		53.0%	
県民だより奈良で見た	15		8.9%	
新聞記事で読んだ	66		39.3%	
知人、家族などから聞いた	25		14.9%	
その他(自由記載)	15		8.9%	
総計	307			-



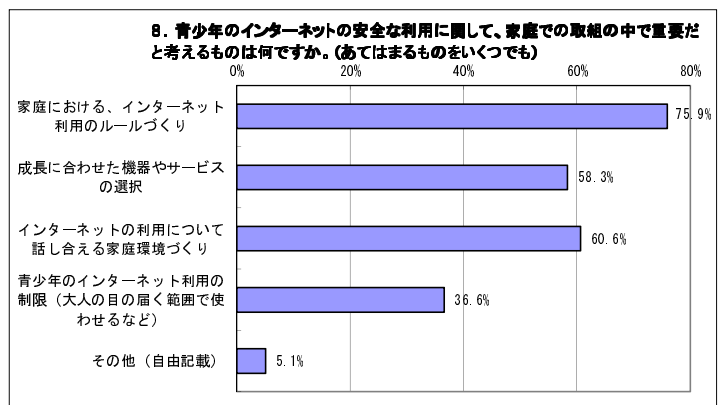
6. Q4で「1. 知っている」と答えた方で18歳未満のお子様がいる方にお聞きします。お子様が使用している携帯電話(スマートフォン、PHSを含む。以下同じ)でフィルタリングを利用していますか。(任意回答)	回答数	回答対象者	比率
利用している	18	64	28.1%
利用していない	21		32.8%
子どもに携帯電話を持たせていない	25		39.1%
総計	64		100.0%



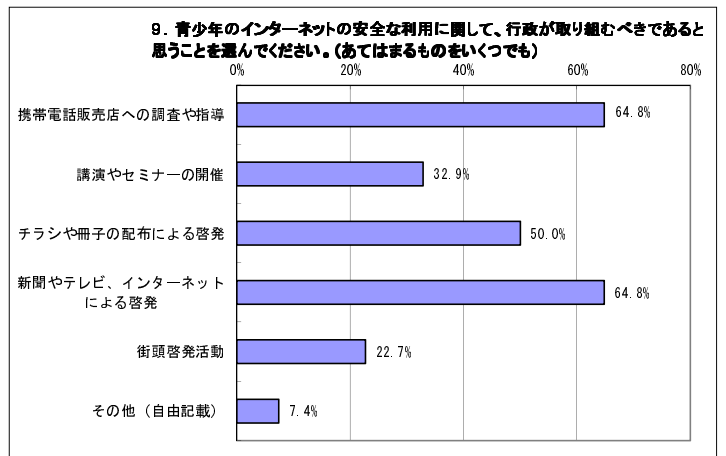
7. フィルタリングについて広く知ってもらうために、効果的だと考える広報手段は何ですか。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
チラシなどの配布	80	216	37.0%
広報誌への掲載	117		54.2%
携帯電話販売店や家電量販店などのポスターの掲示	134		62.0%
街頭啓発活動	49		22.7%
インターネット(県ホームページ、SNS、Web広告など)への掲載	119		55.1%
テレビ、ラジオ、新聞	132		61.1%
その他(自由記載)	14		6.5%
総計	645	-	-



8. 青少年のインターネットの安全な利用に関して、家庭での取組の中で重要だと考えるものは何ですか。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
家庭における、インターネット利用のルールづくり	164	216	75.9%
成長に合わせた機器やサービスの選択	126		58.3%
インターネットの利用について話し合える家庭環境づくり	131		60.6%
青少年のインターネット利用の制限(大人の目の届く範囲で使わせるなど)	79		36.6%
その他(自由記載)	11		5.1%
総計	511	-	-



9. 青少年のインターネットの安全な利用に関して、行政が取り組むべきであると思うことを選んでください。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
携帯電話販売店への調査や指導	140	216	64.8%
講演やセミナーの開催	71		32.9%
チラシや冊子の配布による啓発	108		50.0%
新聞やテレビ、インターネットによる啓発	140		64.8%
街頭啓発活動	49		22.7%
その他(自由記載)	16		7.4%
総計	524		-



10. 「青少年の非行・被害防止運動」について、自由にご意見や要望をご記入ください。(任意回答)	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	64	-	-

(一部抜粋)

青少年の非行・被害防止運動については継続的に粘り強く行うことが大切です。私は犯罪被害者支援のボランティア活動を長くやっていますが、まだまだ青少年の事件は減少しません。さざ波のように繰り返すような終わりのない活動が望まれます。

インターネットは便利であり、社会生活を送るうえで不可欠なものです。それだけに、金銭と同じように、適切な利用方法について、学校・家庭・社会においての年齢に応じた適切な教育も不可欠です。

インターネットが著しく普及し、親の目の届かないところで子どもたちが成長していく様子を親はなかなか把握できずにいると思います。インターネットは使いようによっては便利ですが、怖いものでもあります。インターネットに頼りきるのではなく、それぞれの家庭で話し合う機会を増やしていけば、良い方向に進めると思います。

インターネットは正しく使えば有益なものであり、これからの世の中には欠かせないものになると思うので、正しい知識と使い方を知ることが必要です。